



学連 ADVICE

理美容に携わる方のマナー

私たちは一人で生きているわけではありません。親子関係に始まり、社会の多くの人々と様々な関わりを持ちながら社会生活を営んでいます。その関わりをより好ましく保つための約束事がマナーです。礼儀作法や言葉づかいは個人ばかりでなく所属する組織（家庭や会社等）の評価となって表れます。教養とは知識、マナーなどを身につけることにより、つちかわれた心の豊かさと言えます。

マナーは普段の生活態度や考え方の中で自然に身についていくものです。見方を変えれば、あなたは言葉づかい、動作、服装などを通じて、教養ある人間か否かを判断されているのです。

マナーは一朝一夕に身につくものではありません。日々の努力で教養を高めて下さい。

職場での基本的な心得10カ条

- ① 言葉づかいに注意し、明るくはっきりと返事をしましょう。
- ② 笑顔でのあいさつを心がけましょう。
- ③ 好感のもてる服装、身だしなみを心がけましょう。
- ④ 自分から進んで生き生きと仕事に取り組み、仕事には責任を持ちましょう。
- ⑤ 仕事で失敗したら反省し、繰り返さないように注意しましょう。周囲の声にも素直な気持ちで耳を傾けましょう。
- ⑥ 意見はポイントを整理して、わかり易く述べましょう。
- ⑦ 常にまわりの人の身になって考えましょう。
- ⑧ 整理整頓を心がけ、清潔な職場でお客様をお迎えしましょう。
- ⑨ いつも誠実な態度でのぞみ、観察と吸収に心がけましょう。
- ⑩ 自分の健康管理に気を配り、欠勤、遅刻、早退などをできるだけ無くしましょう。

平成30年度 学連スケジュール

- 6月21日(木) 定時社員総会
- 8月中旬 学連たより No.11 発行
- 10月29日(月) 第23回全国学生技術コンテスト
場所：品川区民センター「きゅりあん」
競技：ワインディング1年生の部
ワインディング2年生の部
ワインディングデザイン巻の部
デザインカットの部
ベーシックカットの部
アップスタイルの部
ヘアデッサンの部
ネイルアートデザインの部
展示：ネイルアートミュージアム
- 11月14日(水) 秋の全国模擬試験（予定）
- 平成31年2月6日(水) 冬の全国模擬試験（予定）
- 2月中旬 学連たより No.12 発行
- 3月卒業時 学連表彰
加盟校推薦の成績優秀者及び学内コンテストの優秀者に学連理事長賞を授与

進学後、はじめてのひとり暮らしをする皆さんへ

学生会館 **ドミー** には 安心があります。

ひとり暮らしの不安や不便を少しでも軽減したいから。
学生会館 **ドミー** は、さまざまな「安心」で充実した
学生生活をサポートします。



朝夕2食付きの学生会館

KYORITSU

株式会社 共立メンテナンス
〒101-8621 東京都千代田区外神田2-18-8
学生会館事務局 ☎ 0120-88-1030

詳しくはこちらから
www.gakuseikaikan.com

ドミー 学生 検索

首都圏/札幌/仙台/名古屋/関西(京都・金沢・大阪・神戸・奈良・広島)/九州(福岡・北九州・熊本)

第23回全国学生技術コンテスト

全国学生技術コンテストは、一般社団法人 全国理容美容学校連盟が主催するメイン行事のひとつです。全国の理容美容学校の学生が参加するコンテストとして広く知られ、学生の技術レベル向上につながる大会として理容美容教育界の高い評価を受けています。これまでに出場・入賞された卒業生の皆様からも、「貴重な体験になった」「自信が持てた」等、将来へのステップとしても意義深い大会であったという感想が寄せられています。



ヘア・デッサンの部
佐藤 真凜
東京文化美容専門学校

第22回全国学生技術コンテスト文部科学大臣賞受賞作品



ワインディング1年生の部 小野 友未佳 北海道美容専門学校	ワインディング2年生の部 小野寺 萌香 北海道美容専門学校	ワインディングデザイン巻の部 田中 美帆 北海道美容専門学校	ヘア・カットの部 近藤 有紗 日本美容専門学校	アップスタイルの部 三宅 昌太 京都理容美容専修学校	ネイルアートデザインの部 西本 日花莉 日本美容専門学校
-------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------	----------------------------------	------------------------------------

大会委員長挨拶



第23回全国学生技術コンテスト
大会委員長 杉本泰子

コンテストにテーマを設けて良かったとの声をよく耳にします。テーマに沿ってデザインを表現することは、社会に出てお客様の雰囲気や好み、希望するデザインをイメージする訓練にもなりますね。今回のテーマは「アシンメトリー」です。皆さんと個性あふれる作品に会えることを楽しみにしております。

今回はカット部門に1競技新設し、2部門とすることになりました。従来の「ヘアカットの部」は名称を「デザインカットの部」に変更し、「ベーシックカットの部」を新設します。「ベーシックカットの部」の内容は、美容師国家試験実技課題です。「ベーシックカットの部」を新設した理由は、基本を見直そうという考えからです。ベーシックカットはレイヤーカットという基礎技術です。オリジナルは確かな基礎の上に成り立つもので、基礎技術のマスターは将来にわたり理美容師にとって必要不可欠です。そこで、全国学生技術コンテストも基本の大切さを再認識することとなりました。

今まで受験のために練習してきた実力を試すという意味でも良い機会となるでしょう。コンテスト参加により、実践感覚と自信が付くと思います。また、課題も発見できるかもしれません。是非、チャレンジしてください。

厳しい練習を積んで技術と精神力を鍛えてこられた選手の皆さんからは、意識の高さと逞しさが感じられます。そんな皆さんが真剣にコンテストに取り組み様子を見る度、コンテストを続けてきて良かったと実感します。また、コンテスト委員の先生方は真剣に学生と学校教育に向き合い、熱心に活動されています。私も皆さんと共に美容教育向上のお手伝いができますことを大変うれしく思っております。

ごあいさつ



一般社団法人 全国理容美容学校連盟
理事長 佐々木健雄

第90回アカデミー賞で、「ウインストン・チャーチル／ヒトラーから世界を救った男」で特殊メイクを担当した日本人アーティスト 辻一弘氏が、メイクアップ&ヘアスタイリング賞を初受賞したニュースに感動した人が多かったのではないのでしょうか。徹底した研究と妥協を許さない技術の追求は見事です。他の追随を許さない卓越した技量に大きな賛辞を贈りたいと思います。辻氏の場合は映画界での特殊メイクではありますが、私たちも学ぶべきことが多いと思います。

最近のスポーツ界・囲碁将棋界などでは、目覚ましい活躍が話題になる若者が増え、多くの希望と勇気を与えて頂きました。世界に認められた十代の起業家もいます。どんな分野でも極めるということは、並大抵のことでありません。運や才能もあるでしょうが、本人の強い意志と人並みに甘んじない努力は否定できません。

若いエネルギーには無限の可能性があります。それを無駄にしないで下さい。皆さんの成長を何よりも楽しみにしております。

今回は全国学生技術コンテストへの出場経験がある北海道美容専門学校の島本圭先生にお話を伺いました。ご参考にしていただければと存じます。

第23回全国学生技術コンテストの統一テーマが「アシンメトリー」に決定しました。

今回のテーマを決めるにあたり、各校から35の案が寄せられました。複数回答や詳しい説明を加えていただいた学校もありました。ご協力ありがとうございました。

今回のテーマは、全分門にわたってイメージし易いものを目指しました。コンテスト委員会では一案ずつ検討し、徐々に絞り込みました。

最終的に「アシンメトリー」「グラデーシオン」「Movement」「トンド」が残りました。いわゆる「左右非対称」という意味の「アシンメトリー」と「段階的変化」という意味の「グラデーシオン」は最後まで接戦でしたが、わずかの差で「アシンメトリー」が第23回全国学生技術コンテストのテーマに決定し、「グラデーシオン」は次点となりました。

「アシンメトリー」は抽象的ではありませんが、デザインカット・アップスタイル・ヘアデザイン・ネイルアートの全分門に於いて、より広く自分なりのテーマ設定がし易いのではないかと、個別のタイトルを作ることなく本人や審査員がイメ

アシンメトリー (Asymmetry)

イメージし易いのではないかとというのが第一の決定理由です。

「アシンメトリー」は理美容業界でも使われている言葉ではありますが、単にその言葉の意味だけに囚われることなく、個性的な作品に仕上げて下さい。豊かな感受性と柔軟な想像力で、若者らしい力強さや初々しさに溢れるデザインを作り上げて下さい。

芸術はその時は酷評されたものが、後に驚くほど高い評価をされることがあるように、感じ方考え方は人や時代によって様々です。独自の解釈、新しい発想があつてこそ、斬新なデザインが生まれると思います。一瞬のひらめき、偶然的発見、否定の肯定など柔軟にイメージを膨らませてみましょう。恐れることなく自信を持って、あなただけの作品作りに取り組んでください。

ワインディングとベーシックカットはテーマの対象ではありませんが、全ての土台とも言える重要な分門です。速さと正確さを要求されるため訓練を積み重ねる必要があります。コンテストで、それまでの努力が100%発揮されますことを祈っております。

第23回 全国学生技術コンテスト 概要

- 実施日時 平成30年10月29日(月)
午前10時30分より
- 場 所 品川区立総合区民会館「きゅりあん」
(東京都品川区東大井5-18-1)
- 競技種目

- ワインディング1年生の部
- ワインディング2年生の部
- ワインディングデザイン巻の部
- デザインカットの部
- ベーシックカットの部
- アップスタイルの部
- ヘアデッサンの部
- ネイルアートデザインの部

別に「ネイルアートミュージアム」を開催します(作品展示)

今年のテーマ 「アシンメトリー」

※ネイルアートミュージアムも同テーマです。

※ワインディングの3部門とベーシックカットの部は除きます。

- 表彰
優勝 = 文部科学大臣賞 準優勝 = 学連理事長賞
3位 = 全専各会長賞



表彰式

● 詳しくは学校への案内をご覧ください。



学連インタビュー Vol.6

学連コンテストの経験すべてが私の「今」のベースになっています

北海道美容専門学校 島本 圭先生(コンテスト出場経験者)

北海道美容専門学校を卒業され、現在は母校で教鞭を執っておられる島本圭先生に、全国学生技術コンテストについてお話を伺いました。

学連 一般社団法人全国理容美容学校連盟が全国学生技術コンテストをスタートさせて、今年で23年目を迎えます。学生時代にコンテストに出場され、今は教師としてコンテストに出場する学生を指導されていらっしゃる先生から、両者の立場での経験を通したお話が伺えますことは、大変参考になります。よろしくお話し致します。

まず、美容師を目指したきっかけをお願いします。

島本 高校時代に行っていた美容室の美容師さんがとても素敵で、対応もカットはすごく上手でしたし、対応も感じが良かったです。見事な手さばきで希望するデザインにカットしていく姿を何度も見るうちに、美容師に強く憧れるようになりました。あの美容師さんとの出会いが大きかったと思います。

学連 多くの美容関係の専門学校のなかから、北海道美容専門学校への進学を



島本 圭先生

決めた理由は何でしたか。

島本 その美容師さんが北海道美容専門学校卒業だったこと、国家試験の合格率や就職率が良かったことです。

学連 北海道美容専門学校で良かったこと、楽しかったことはありますか。

島本 一番は真面目で一生懸命な一生の親友が出来たことです。学校の先生方はとても熱心で、授業はもちろんですが、コンテスト等の準備にも時間を掛

けて指導してくださいました。コンテストをきっかけに技術を向上させ、視野を広げることができました。北海道美容専門学校にして良かったと思っています。

学連 島本先生はいつ全国学生技術コンテストに出場されたのですか。

島本 担任の先生に薦められて私は2007年、2008年の全国学生技術コンテストのワインディングの部に出場しました。今はデザイン巻きの部ができましたが、私の時は1年生の部、2年生の部の2部門でした。

学連 そうですね。今年度の第23回全国学生技術コンテストではカット部門がデザインカットの部とベーシックカットの部の2部門になります。ところで、コンテストの準備はどのようにされたのですか。

島本 北海道美容専門学校は当時から、特にワインディングに力を入れていました。

放課後になると、1・2年生のワインディングコンテストメンバーが一つの教室に集まっていました。先生方には、とても熱心にご指導して頂きましたし、先輩方にもずいぶん助けて頂きました。

学連 学校の指導で思い出すことはありますか。

島本 施術時の姿勢から目線、細かい手の動き、用具の理想的な使い方等技術面から、練習の積み重ねや強いメンタルの大切さから、礼儀・マナーの必要性など精神面でも徹底的に指導されました。当時は大変だと思いましたが、社会に出てその意味を痛感することになりました。

学連 礼儀・マナーは全てに通じることですが、具体的にお話頂けますか。

島本 毎日のトレーニングでも先生方にはお礼や挨拶は欠かせません。先輩方とも練習するので、先輩より早く来て教室の鍵を開けたり、先に掃除したりと当たり前ですが、言動には十分気を付けて行動していました。

学連 学生同士はどんな関係でしたか。



Q. 小学3年生の女の子の毛髪に、白い点のような物が付いているのですが、何か病気でしょうか。

A. 子供の場合には大きな原因が2つ考えられます。1つは女の子の場合ですが三つ編みとかポニーテールのような毛髪の一部に力が入る、引っ張られるようなヘアスタイルを続けているためです。この場合、皮膚の中で毛幹部に毛包の一部が切れて付いたまま成長し、毛髪が皮膚面から出てきた時に毛髪を取り囲むように白い点のような物が出てきます。これを「ヘアキャスト」と言います。ヘアスタイルを「おかっぱ」や普通のロングヘアのように常時力が入らないものに変えれば出来なくなります。

もう一つは男子、女子に関係なくできるもので「アタマジラミの卵」です。毎年夏になり、プール授業が始まると感染も多くなります。これはヘアキャストと違って、肉眼でも良く見ると、片側だけに釣鐘状の物(卵)がしっかりと付いているのが確認できます。1970年頃から増え始め、1997年には神奈川県のある小学校で26%の罹患率の報告がありました。その後減り始めましたが、現在でも小学校でプール授業が始まると、1校で1~2例の報告を受けます。

Q. ヘアカラーを長持ちさせるにはどうしたらよいのですか。

A. 若者は言うまでもなく、日本の中高年の女性もカラフルな服装をするようになって、服にあったマイルドな色の髪にするためでしょうか、ほとんどの方が染毛するようになりました。中には白髪隠しの意味の方でもいらっしゃいますが、一時のパーマネント全盛時代から染毛全盛時代になった感じがします。

染毛にも色々あって、一時的に毛の表面を染めるヘアスプレー、ヘアスティック、ヘアリンス、ある程度長持ちする半永久染毛料のヘナ、ヘアマニキュア、永久染毛剤のヘアダイがあります。

ヘアダイは酸化染毛剤と呼ばれ、毛の大部分を占める毛皮質のほとんど全部を酸性の液で染めるものです。長持ちしているのですが、原料のジアミン系の薬品にアレルギー反応を起こす方がいますから、事前にパッチテストで確認することが大切です。ヘナ、ヘアマニキュアなどの半永久染毛料は、毛の表面のキューティクルと、毛の大部分を占める毛皮質の一部を酸性の液で染めるもので、ヘアダイほど長持ちしません。しかし、アレルギー反応は起こさないの、安心して使用できます。ただし、純粋のヘナは日本人の漆黒の髪色を隠す作用はなく、我々の調べた結果、それを補うために大青(だいじょう)という植物を混ぜたり、ケミカルヘナと称して酸化染毛剤の原料を入れたりした製品があり、これらは当然ですがアレルギー反応を起こしたものもありました。

染毛剤でしっかり染めてから、その際に傷んだ毛髪をしっかりトリートメントする、そうすることで、ヘアカラーは長持ちします。なお、育毛剤には配合成分を溶かすためにアルコールなどが使用されており、染毛剤使用直後に使うと色落ちが考えられます。育毛剤の使用は、染毛後2~3日あけてからが良いでしょう。

協力：学連アカデミック・アドバイザー 毛髪研究家 八木原陽一

■髪に関して分からないことがありましたら、ご連絡下さい。

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-16-16 チェアーカテリーナ501

TEL 03-5362-5561 FAX03-5362-5560 <http://www.jhsa.jp> info@jhsa.jp

公益社団法人 日本毛髪科学協会

学連 その実力を認められて、母校に招かれたのですね。教師になって感じたことはありますか。

島本 指導する側に立って初めて気づくことも多く、理解がより広くより深くなったと思います。

学連 今までの経験から、コンテストをどう思われますか。

島本 コンテストまでの過程で学ぶことが沢山あり、大切な仲間もできます。日々のトレーニングでの頑張りを評価してもらえ、貴重な体験です。時間もお金も掛かるとは思いますが、それ以上ものが得られる絶好のチャンスだと

思います。

また、美容師になっても技術を磨き続けていくことは必要です。学生時代から参加していると、美容師になってからもコンテストに出やすくなり、業界のレベルや意識が上がり、もっと盛りが上がっていくと思います。

学連 先生が学生であった時と現在の学生で、コンテストに関して何か変化はありますか。

島本 今はSNSなどで情報収集をし易くなったので、キレイな作品が見られるようになりました。今の学生の方が色々な知識が付いていて、レベルが上がっていると思います。



スタイリッシュ北海道美容専門学校の校舎

美容師は、技術だけでなく、サービス業としてもとても大切なところがあります。お客様はこういう気持ちを持っているんだということも一緒に考えてほしいんです。やはりサービス業はとても難しいですからね、人が相手ですから。日頃から、笑顔・挨拶・返事・言葉使いに気をつけ、人間というもの構造や考え、気持ちやコミュニケーションの取り方に関心を持ってほしいと思います。

学連 私達も多くの学生が全国学生技術コンテストに参加されることを願っています。頑張ってくださいと思います。ありがとうございます。



学連 ご家族の方はどうでしたか。

島本 実家から通学していましたが、よくリビングで練習をしていました。私にプレッシャーを与えないように気を遣いながら、温かく見守り応援してくれました。

コンテストばかりでなく、経済的・精神的に支えてくれた家族には本当に感謝しています。

学連 会場は東京でしたし、大勢の出場選手に加え見学者もいましたが、出場された時はどうでしたか。

島本 1年生での大会は、ワインディングの理論などもほとんど分からず、ただひたすら巻きの練習をし、形を調整していました。何度練習しても自信がなく、不安でいっぱいでした。当日は緊張して、手の震えが止まらなかったことを覚えています。終わった時には、タイム内に巻き終えたことだけでほっとしていました。

学連 貴重な経験となりましたね。

島本 はい、そうですね。限られた時間と緊張の中で、自分を精一杯出さなかった感じでした。さらに、それを評価して頂けたことで自信が持てましたし、大変な時でもあの経験を思い出すと頑張る力が湧いてきます。仲間と頑張った思い出、先生・先輩・家族への感謝の気持ちなど貴重な経験ができました。

コンテストに参加して本当に良かったと思っています。

学連 島本先生は大変真面目で優秀な学生だったとお聞きしました。周囲からの期待やご自身の抱負などがあつたと思いますが、優秀賞を受賞されたのでしょうか。

島本 当時は全国のレベルも全く知らず、自分の立ち位置も分からないまま大会に臨んでいたもので、優秀賞を取ってもよくわかりませんでした。先生方が喜んでくださったことが何より嬉しかったです。ただ、自分より上手な人達が沢山いることが分かり、正直、悔しかったです。その悔しさがその後のエネルギーになりました。

学連 卒業後は道外で美容師をされたのですか。

島本 関東で5年間、美容師として働きました。その後、教師として母校で教える機会を頂きました。美容室での5年間は、私の基礎を固めた有意義な時間となりました。技術を磨くことは当然ですが、接客の大切さ・難しさ等学校ではできない経験を通して、内面も成長できたと思います。現場の厳しさを知り、それが学生を教える立場となった今、大変役に立っています。

学連 島本先生は就職されてからもコン

テストに出場されていたそうですね。

島本 はい、美容師2年目まで、コンテストに出場していました。学生時代に学んだ技術を思い出しながら、営業などに練習しました。

学連 どのようなコンテストに出場されたのですか。

島本 『ルベルドリーム』『タマリス駅伝』『ジャストカット』『ダックス』等、振り返るとよく挑戦したと思います。出場した大会では、毎回入賞できたので、そのトロフィーや賞状をお店に飾っていただきました。賞を取るとお店の宣伝になるので、店長に喜ばれました。お客様にもお知らせすることができ、喜んで頂きました。営業の仕事では、アシスタントの時は成績を評価する賞や達成感がなかったもので、楽しかったです。

学連 ずいぶん活躍されたのですか。社会人になってコンテストに出たメリットは、他にもありましたか。

島本 基本の技術を身につけることで、他の技術の理解力も上がりました。これはどこに行っても何をやっても、全てに通じることだと感じました。

高い技術と、より上を目指す多くの美容師に直接触れることで、パワーをもらいました。出場しなければ知らなかった世界を体験できたと思います。